

## CS こひつじ科礼拝式次第

2021年10月31日 午前9時30分

2021年度年間テーマ：「光の子として歩もう！～イエスさま 来てください～」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません」

ヤコブの手紙 1章22節

9、めぐみうけて（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 使徒言行録 2章38・39節

「すると、ペトロは彼らに言った。『悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。この約束はあなたがたにも、あなた方の子供にも、遠くにいるすべての人にも、つまり、わたしたちの神である主が招いてくださる者ならだれにでも、与えられているものなのです。』

おはなし 「洗礼とは何ですか」

佐藤紀子先生

みなさん。げんきにすごしていますか。コロナにかんせんする人がすくなくなってきたので、いろいろなせいげんがなくなってきましたが、よい子のみなさんは、ゆだんしないで、マスクやてあらい、うがいはつづけていきましょうね。

さてせんしゅうは10月31日はキリスト教の宗教改革の記念日であることをまなびましたね。くわしいことは、10月24日のほうこくをみてくださいね。

今日は「洗礼」について学びたいとおもいます。

その前に、イエス様が十字架にかかってくださったことはみなさん知っていますね。

イエス様はなぜ十字架にかけられたのでしょうか。それは、わたしたちの罪のためです。わたしたちは、じぶんでどんなにがんばっても、罪をけすことはできないのです。そのわたしのかわりに十字架の苦しみを受けてくださったイエス様を信じるとき罪はきれいに消されるのです。イエス様とともに歩みつづけることを神さまは、ねがっています。

でもわたしたちにんげんは、とてもよわいので、いまは目に見えないイエス様に不安なきもちになったり、イエス様とともに歩むことをやめたくなったりすることがあります。だから神さまは、わたしたちのために恵みの方法を与えてくださいました。それが洗礼と聖さん式です。コロナのえいきょうで、いまは聖さん式はお休みしていますが、今年のクリスマス礼拝の時には行う予定です。今日は、もう一つの恵みとして神さまが与えてくださった洗礼についてお話します。

『子どもと親のカテキズム』の問51では「洗礼とは何ですか。」にたいして答「父・子・聖霊なる神さまの御名によって行われる水の洗いです。洗礼は、イエス様と結び合わされ、罪赦され、永遠の命が与えられ、神さまの子どもとされたことを示す礼典です。」とあります。洗礼式で水をそそがれることによって、わたしの魂のけがれ、すなわち私のすべての罪をイエス様の血と霊によってかくじつに洗っていただけるのです。みなさんは、まいにちからだの汚れをおふろであらうとききれいになりますね。よごれた手も石けんであらうとききれいになりますね。わたしたちは目には見えないけれど、神さまの前には、つみでまっくろによごれているのです。このつみのよごれはどんな石けんをつかっても、おふろでのごしごしこすってもきれいにはなりません。ではどうしたらよいのでしょうか。イエス様が十字架で流された血と霊によってわたしの罪をあらいながして、きれいにしてくださることをしんじるのです。

洗礼式のときに注がれる水は、イエス様の血と霊によってわたしの罪が神さまに赦されることをあらわします。イエス様をわたしの救い主としんじていることを、自分のこころの中で思うだけでなく、じぶんの口で告白するのです。このことをとおして神さまは信仰を確信させようとしておられます。告白により見える教会につながるのです。

みなさんのなかには、赤ちゃんのときに洗礼をうけた人もいるでしょう。その人はおとうさん、おかあさんの神さまの恵みへのかんしゃのあらわれなのです。赤ちゃんの時から教会につながっているお友だちは、洗礼式ではなく信仰告白式において、じぶんの口でイエス様を救い主としんじていることをこくはくするのです。

洗礼によってクリスチャンとして告白し、イエス様に接ぎ木され、恵の契約の祝福にあずかります。イエス様とともに歩む、あらたな感謝と恵みと決意をいただくのです。みなさんがそれぞれ、神さまの与えてくださるその時に、自分の口で洗礼をうけたり、信仰告白をする日が明らかとなり、ますますイエス様と強くつながり、ともにあゆんでいきますようにお祈りしています。

\* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

71、主イエスと共に (こどもさんびかをお用ください)